



レポート標準化WG テンプレート説明書Part3

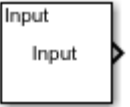
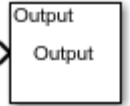

テンプレート用Simulinkライブラリ 使用手順



Simulinkモデルライブラリ ブロッキー覧



• MBAC_reportWG ライブラリのブロッケー覧

モデル	名称	説明	動作
	Input ブロック	レポートジェネレータ用の追加情報を入力可能とした[Inport]ブロック	ブロックプロパティを開くと、標準のブロックプロパティの代わりに、追加情報の入力画面が表示される。
	Output ブロック	レポートジェネレータ用の追加情報を入力可能とした[Outport]ブロック	ブロックプロパティを開くと、標準のブロックプロパティの代わりに、追加情報の入力画面が表示される。
	doc_description ブロック	レポートジェネレータ用の ・備考 ・モデルのバージョン ・改訂履歴 を入力するためのブロック	ダブルクリックで追加情報の入力画面が表示される。



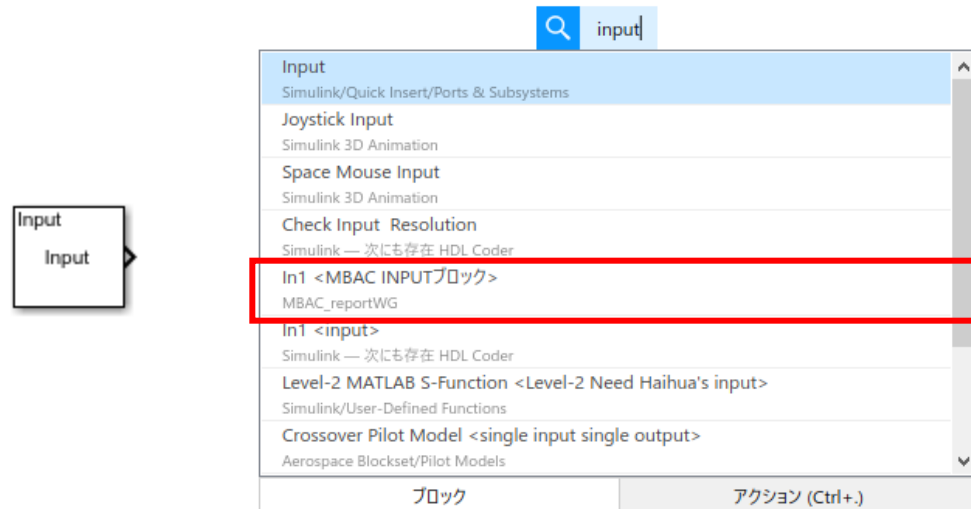
Simulinkモデルライブラリの使用手順



• Inputブロックの使用方法

1. ライブラリブラウザーからモデルに配置する。

Simulink上で「input」と入力し、下図のように選択しても配置できる。

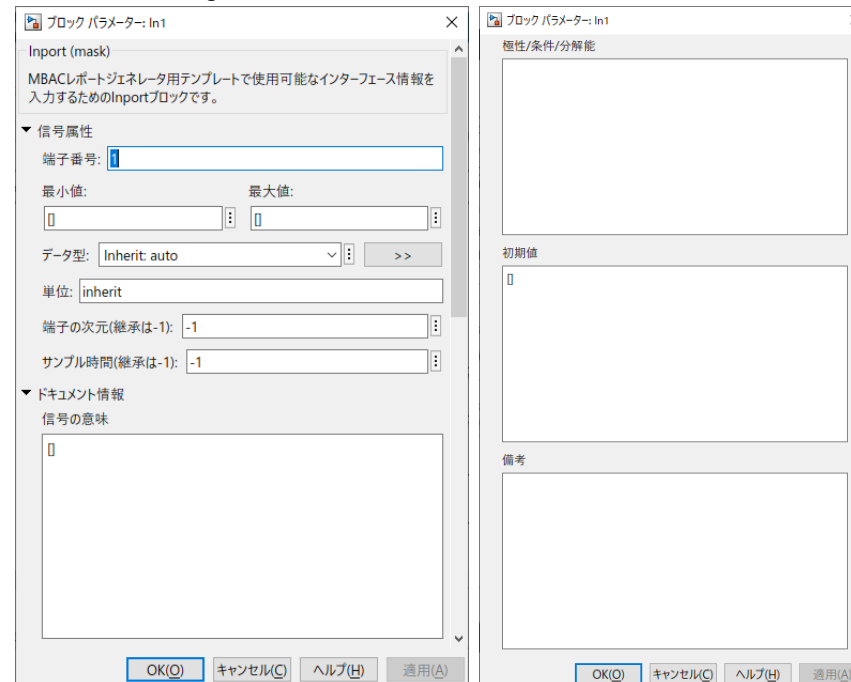




Simulinkモデルライブラリの使用手順



- Inputブロックの使用方法（続き）
 2. ブロックをダブルクリックすると、カスタムされたブロックパラメータが表示される。
 3. パラメータの信号属性、及びドキュメント情報がレポートに反映される。

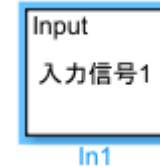
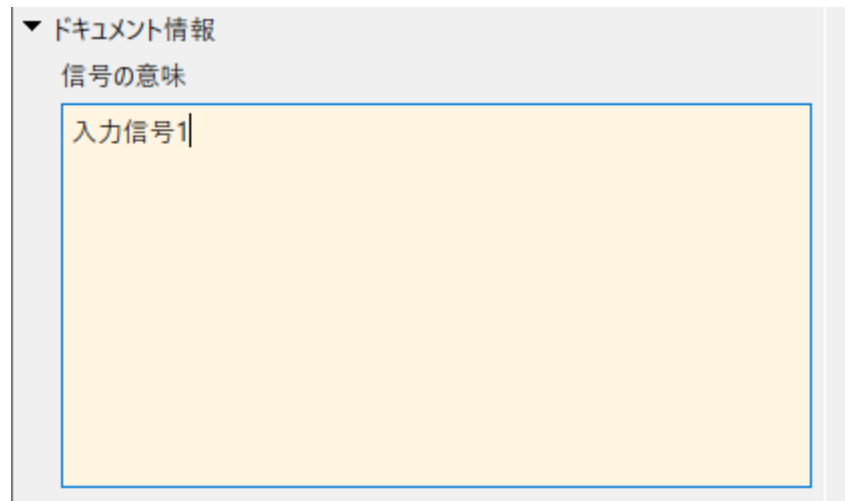




Simulinkモデルライブラリの使用手順



- Inputブロックの使用方法（続き）
 4. ドキュメント情報の「信号の意味」の記載は、ブロックに反映される。



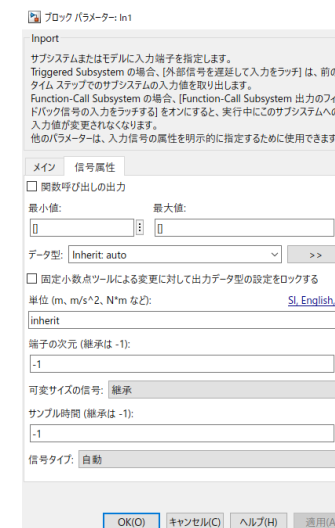
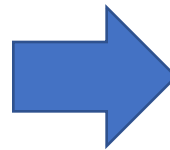


Simulinkモデルライブラリの使用手順



• Inputブロックの使用方法（続き）

5. 従来のinportブロックのブロックプロパティを表示する場合、ブロックを右クリックして、「ブロックパラメーター」を選択する。





Simulinkモデルライブラリの使用手順

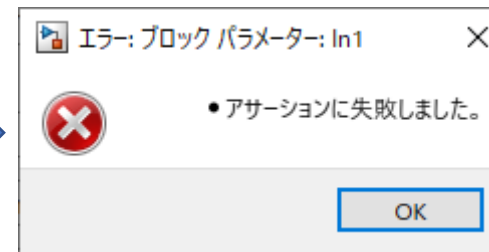
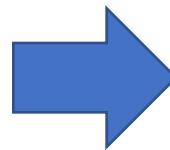
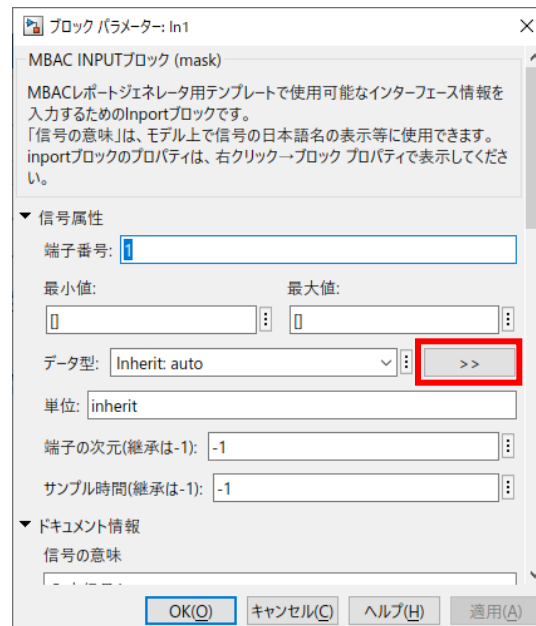


• Inputブロックの使用方法（続き）

注意事項：ブロックパラメータの制約について

ブロックパラメータのデータ型について、「>>」ボタンはエラーが表示される。

データ型を詳細に設定する場合は5.の手順でinportブロックのブロックパラメータを表示すること。





Simulinkモデルライブラリの使用手順



- Inputブロックの使用方法（続き）

注意事項：サブシステムとのブロックの接続にいて

ブロックをサブシステム等に接続した場合、接続先はinportブロックとなるため、追加情報は継承されない。





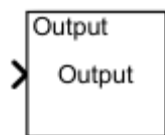
Simulinkモデルライブラリの使用手順



• Outputブロックの使用方法

1. ライブラリブラウザーからモデルに配置する。

Simulink上で「output」と入力し、下図のように選択しても配置できる。

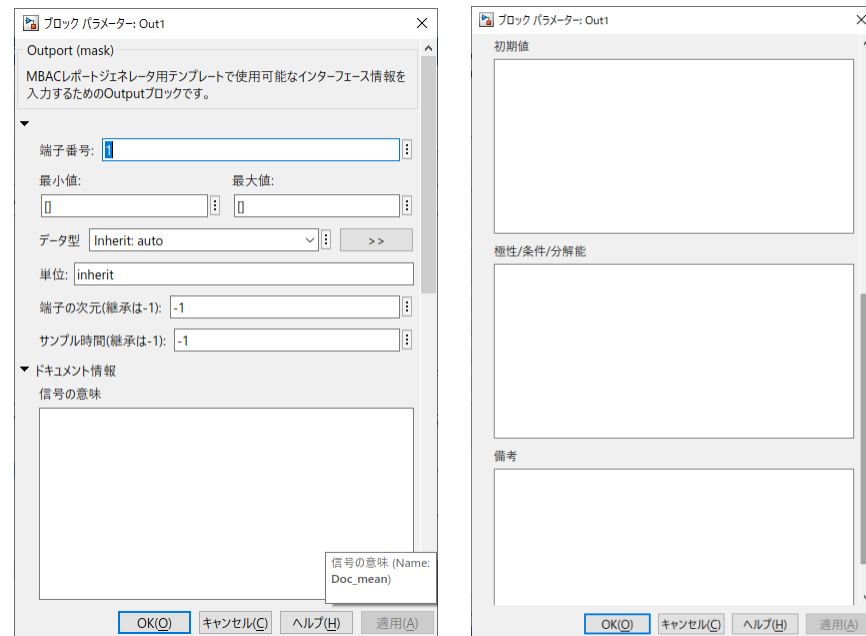




Simulinkモデルライブラリの使用手順



- Outputブロックの使用方法（続き）
 2. ブロックをダブルクリックすると、カスタムされたブロックパラメータが表示される。
 3. パラメータの信号属性、及びドキュメント情報がレポートに反映される。

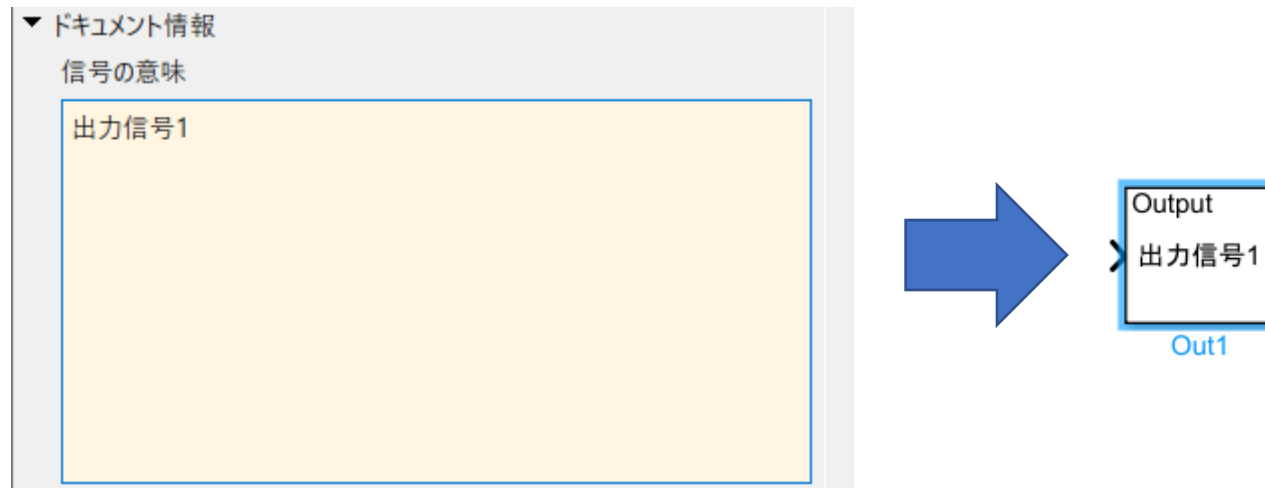




Simulinkモデルライブラリの使用手順



- Outputブロックの使用方法（続き）
 4. ドキュメント情報の「信号の意味」の記載は、ブロックに反映される。



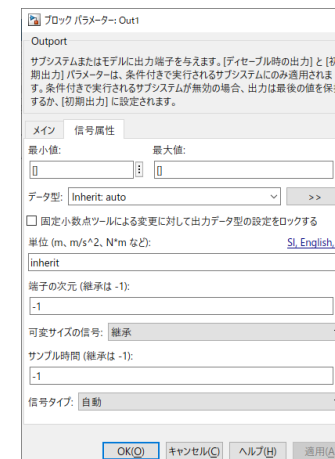
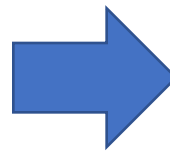


Simulinkモデルライブラリの使用手順



• Outportブロックの使用方法（続き）

5. 従来のoutportブロックのブロックプロパティを表示する場合、ブロックを右クリックして、「ブロックパラメーター」を選択する。





Simulinkモデルライブラリの使用手順

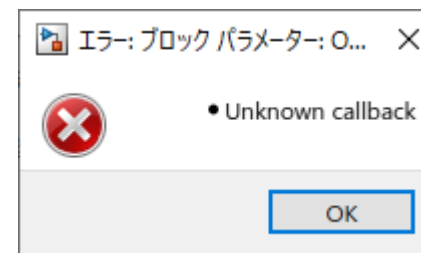
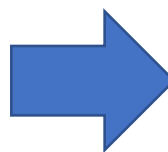
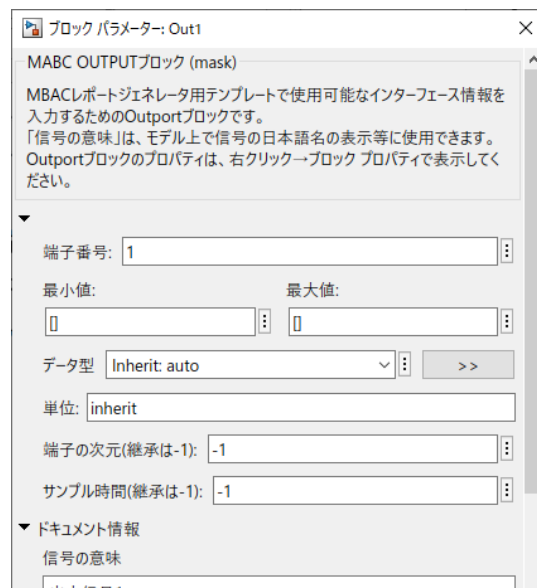


• Outputブロックの使用方法（続き）

注意事項：ブロックパラメータの制約について

ブロックパラメータのデータ型について、「>>」ボタンはエラーが表示される。

データ型を詳細に設定する場合は5.の手順でinportブロックのブロックパラメータを表示すること。





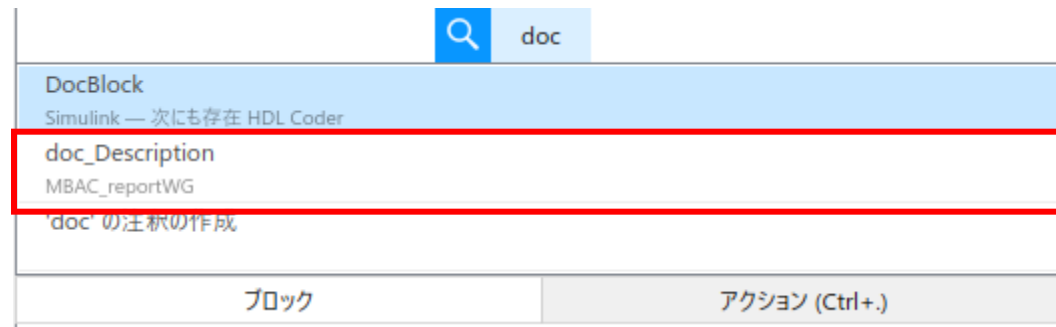
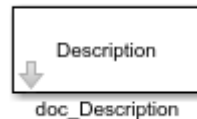
Simulinkモデルライブラリの使用手順



- doc_Descriptionブロックの使用方法

1. ライブラリブラウザーからモデルに配置する。

Simulink上で「doc」と入力し、下図のように選択しても配置できる。





Simulinkモデルライブラリの使用手順



- doc_Descriptionブロックの使用方法（続き）
 2. ブロックをダブルクリックすると、カスタムされたブロックパラメータが表示される。
 3. 備考、モデルのバージョン、改訂履歴がレポートに反映される。

